

【行政評価(事務ふりかえり)結果一覧表の見方】

基本目標(章)	主要施策(節)	所管課	事務事業コード	事務事業の名称	構成する細事業の名称	投入コスト(千円) ※下段(会計年度任用職員人件費を再掲)				職員 人工数	成果								令和5年度最終評価		
				事業期間		R2決算	R3決算	R4決算	R5予算		成果指標(単位)	R2目標	R2実績	R3目標	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標	今後の方向性	今後の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容	評価責任者(課長)の所見
①自然と暮らしを守るふさとづくり	(1)自然環境の保全	環境整備課	112-1	環境保全啓発事業	廃油石けんの普及事業、EM活性液・ぼかしの普及事業、河川水援隊事業、川の水生生物調査業務、天水石けん加工施設維持管理事業、生活排水汚濁水路浄化施設維持管理業務	2,084	2,127	2,074	3,063	0.20	河川環境保全啓発活動参加者数(人)	(500)	434	(500)	411	(500)	437	(500)	拡充して継続	終了(統廃合)を検討している事務事業「ふるさと玉名の環境づくり事業」の環境教育事業等の一部細事業を受入れ、事業の継続を図る。	河川水援隊による河川監視や市民団体による浄化活動を支援することにより美しく豊かな河川を次世代に引き継ぐ必要がある。また、次世代を担う子どもたちを対象に川の生き物調査を行うことで地域の自然の豊かさを発見し継承する意識を芽生えさせるためにも事業継続の必要がある。
				H17年度～		(0)	(0)	(0)	(0)												

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

- ① 事務事業が市の総合計画の基本目標(章)のどこに位置付けられているかを表しています。
- ② 事務事業が市の総合計画の主要施策(節)のどこに位置付けられているかを表しています。
- ③ 事務事業を所管し、実施している部署です。
- ④ 事務事業コードを記載しています。
- ⑤ 上段が事務事業の名称、下段が事務事業を実施する期間です。
- ⑥ 事務事業を構成する細事業(予算事業を構成する最小単位の事業や業務)です。
- ⑦ 上段が事務事業の実施に要した過去3年度の決算額と本年度の予算額です。下段には、上段の額のうち、会計年度任用職員の人件費を再掲しています。
- ⑧ 事務事業の実施に要した正職員の人工数です。人工数とは、事務事業の実施に要した労働量のこと、1人が1年間勤務した労働量を「1.00」に設定しています。例えば、3人の職員が1年を通じてその事務事業だけに従事した場合は「3.00」になり、1人の職員が1年間の業務のうち半分をその事務事業に従事した場合は「0.50」になります。
- ⑨ 事務事業を実施した結果、どのような影響、成果がどれだけあったかを指標を設定して記載しています。過去3年度の目標値と実績値、本年度の目標値を記載しています。
- ⑩ 今後の方向性とその判断理由、見直し・改善の具体的内容を記載しています。
- ⑪ 評価責任者(事務事業を所管し、実施している部署の長)の所見を記載しています。今後の方向性、今後の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容に対する評価責任者の所見となります。